

「オオクワガタの棲める森づくり」^(す)

林野庁 近畿中国森林管理局
箕面森林環境保全ふれあいセンター

「箕面体験学習の森」整備事業について

大阪府の北部に近接する箕面国有林を含む北摂地域は、かつて台場クヌギを仕立てて菊炭を生産するなど、活発な里山の利用が行われ、オオクワガタなどの昆虫類が数多く生息するクヌギ等の落葉広葉樹林が広がっていましたが、現在では、スギ、ヒノキの人工林が大半を占めています。

このため当ふれあいセンターでは、箕面国有林にある「エキスポ 90 米のお記念の森」を含む地域を「箕面体験学習の森」として積極的な広葉樹の育成や伐採等による木材利用及び菊炭づくり体験等、森林環境教育のフィールドとして活用しつつ、里山の再生と生物多様性の向上を図ることとしています。

特に箕面市内の小学生、幼稚園児、ボランティア等、住民参加によりクヌギ、コナラをドングリから育てる「オオクワガタの棲める森づくり」を進めています。

具体的には、「エキスポ 90 米のお記念の森」を含む 26 ha をエリア分け（位置図を参照）して目的に応じた整備を進めています。各エリアについて、どのように整備していくかは「整備イメージ図」のとおりで、「オオクワガタの棲める森づくり」^(す)は「里山体験ゾーン」の一部で行うことにしています。

「箕面体験学習の森」整備事業位置図



「箕面体験学習の森」整備イメージ



「オオクワガタの棲める森づくり」^(す)

林野庁 近畿中国森林管理局
箕面森林環境保全ふれあいセンター

「オオクワガタの棲める森づくり」^(す)

「箕面体験学習の森」整備事業の一環として、クヌギ、コナラなど箕面に昔から自生している落葉広葉樹による森を造り、将来オオクワガタが棲める森となるように住民参加型の取組を開始しました。

平成 21 年度は「箕面体験学習の森（エキスポ 90 米のお記念の森）」の中心にある展望台の周辺において、ヒノキ、スギを伐採して、その跡地にクヌギ、コナラなどの落葉広葉樹を植樹することにしています。

この取組が森林環境教育の一環として、箕面市内の小学生及び幼稚園児に苗木の育成から植樹を体験してもらい、「森林」が豊かな体験を提供する場であること、「森林」が正しい知識を得る場となること、「森林」が生活や日本人とのかかわりをつくりあげていく対象となること等「気づかせるきっかけづくり」となることを目指しています。



どんな木を植えるの？



山に植える木は、昔から箕面に自生していた木を植えます。

みなさんに育てていただく苗木は、箕面国有林などで採れた種からポット苗にしています。

植える木（箕面に自生している落葉広葉樹）

クヌギを中心に、コナラ、エドヒガン、ヤマザクラ、カスミザクラ、アカシデ、イヌシデ、リョウブ、エゴノキ、イロハカエデ、クマノミズキ、ケヤキ、エノキ、ムクノキなど

小学校・幼稚園で今育てている木



出典：「ドングリの図鑑」トンボ出版

出典：「ドングリの図鑑」トンボ出版

クヌギ、コナラは昨年10月～11月にドングリを拾い、ポットに埋めて根を出させています。すでに芽も出かかったものもあります。

エドヒガン、ヤマザクラは今年の6月に種を拾って冷蔵庫で保管し、今年3月初旬に種を埋めました。



小学校・幼稚園での取組 (1)

箕面市内の小学校、幼稚園の参加により、「オオクワガタの棲める森づくり」の取組を行っています。クヌギ、コナラのドングリから苗木に育て、箕面国有林に植える取組です。小学校は3校、幼稚園は5箇所が参加しています。

箕面市立豊北小学校

平成20年10月28日（火）晴れ - 箕面国有林 -

箕面市立豊北小学校の1年生と2年生の児童116名（教師4名）に、箕面国有林の「箕面体験学習の森」（エキスポ 90mのお記念の森）に来ていただきました。

まず、近畿中国森林管理局の佐古田計画部長の挨拶の第一声で、子供たちに「オオクワガタを知っていますか」と尋ねると「はい」と大きな声で小さな手が一斉に上がりました。その後「ここは今ヒノキとスギの林になっているので、一部伐ってクヌギやコナラを植えてオオクワガタの棲める森をつくることとしています。

今日は皆さんにクヌギとコナラの実を拾っていただき、そして再来年の春まで育ててこの森に植えてもらいたいと思っていますので協力をお願いします」との挨拶がありました。



（ドングリ拾い）

1年生はコナラのドングリを拾い、2年生はクヌギのドングリを拾いました。その後、合流してそれぞれのドングリを交換しました。



（ドングリの話）

ヒノキ林の中で、兵庫県立大学の服部保教授より「ドングリからの森づくり」と題して、里山の話、昔話の中の里山、ドングリの山に棲むオオクワガタなどの昆虫の話に分かりやすくお話ししていただきました。



（ポットにドングリを埋める）

児童のみんなはポットを2個づつ作って、さっき拾ったばかりのクヌギとコナラのドングリを埋め込みました。

作ったポットを大事そうに、袋に入れて学校へ持ち帰りました。

その後、それぞれおもしろい場所でお昼ご飯の時間となりました。

（木工クラフトに挑戦）

午後は、木の円盤や枝、ドングリなどを使って木工クラフトに挑戦しました。作品はそれぞれの感性でできあがり、学校へ帰って展示会が行われました。

再来年の3月まで皆さんに育ててもらったドングリの木はドングリを拾った山に植えることとなります。約20年後には、オオクワガタが棲みついてくれるのを願い、みんなが大人になって森を見て来て欲しいと思います。



箕面市立豊川小学校

平成20年10月24日（金）曇り

豊川北小学校の5年生82名（教師3名）で、ガラシア病院の裏山ヘラス毎に歩いてゆき、コナラを中心に拾いました。一部ではクヌギとアベマキのドングリを拾う事も出来ました。

学校へ帰ってポットに土を入れて、拾ったドングリを埋め込みました。一人で2鉢づつ作りましたが、中には7鉢作った児童もあり、今後の成長が楽しみです。



ドングリの植え方を習う



たくさん出来たポット。早く根を出せ。

何日かすると根が出はじめるので、児童の皆さんに観察をしていていただきたいと思っています。今後は1年4ヶ月ほど育ててもらい、国有林で植樹の予定です。

平成20年10月29日（水）晴れ

10月24日の5年生のドングリ拾いに続いて、豊川北小学校の4年生82名（教師2名）で、ガラシア病院の裏山で、コナラなどのドングリを拾いました。

学校へ帰って、ポットに土を入れて、拾ったドングリを埋め込みました。先日作った5年生のポットの集団の横に、4年生のポットが増え、これからが楽しみです。

最後に、4年生と5年生の中で、家庭で育てるドングリのポット作りを行いました。



ガラシア病院の裏でドングリ拾い



ドングリの埋め方を聞く児童

箕面市立とよかわみなみ幼稚園

平成20年10月21日（火）晴れ

千里北公園でクヌギとコナラのドングリを拾いに来ていただきました。園児74名（職員8名）で約1時間ほど拾い、一人でも何個も拾った子もいました。

拾ったドングリの一部を、当ふれあいセンターに寄付して頂きました。



ドングリの話に興味津々



夢中でドングリ拾い。袋がずしりと重い。

平成20年10月30日（木）晴れ

幼稚園に出向き、園児にドングリの埋め込みをしてもらいました。できたドングリのポットを庭のすみに運び、水をかけてもらいました。これからも大事に育てて下さい。



ドングリの埋め方を聞く園児



できたポットを大事に運ぶ



「オオクワガタの棲める森づくり」

小学校・幼稚園での取組 (2)

箕面市立なか幼稚園

平成20(2008)年12月 4日(木) 晴れ

12月に入って、幼稚園では5箇所目の実施となりました。園児50名と職員の方でコナラとクヌギのドングリをポットへ埋め込みました。

ポットへの土の入れ方や、埋め込み方を聞いてから、作業開始です。ングリは、苗床で根っこが出ているものを使ったので、まもなく土の中へ根っこが伸びることと思います。帰る時には、園児達から、「大事に育てるからね」と声をかけてくれました。大きくなることを願って育てて下さい。



一生懸命にポット作り。



根っこが出てるぞ。



園庭の隅に運んで・・・



大きくなーれ！大きくなーれ！と言いつつ水をかけました。

箕面市立せいの幼稚園

平成20年11月20日(木) 晴れ

秋晴れの日、せいの幼稚園で、当センターから2名と地元ボランティアの鎌谷さんに協力をいただき、「オオクワガタの棲める森づくり」の一環として、園児32名と職員の方でコナラとクヌギのドングリをポットへ埋め込みました。



鎌谷さんの説明を聞く園児。



ドングリの埋め方は簡単やなー



ドングリは、こうやって埋めて・・・



水をまいてできあがり

ドングリはすでに根っこが出はじめており、そのドングリを腐葉土を入れたポットに埋めて完成させました。ポットは各自で木陰の園庭に運び、じょうろで水をかけて終了しました。当日は、中学生3名が職場体験で来ており、園児の手助けをしていただきました。園児達に、将来大きな木になることを願って育てて下さいと話す、元気づけ手を挙げてくれました。これから1年4ヶ月間大切に育てて下さい。

子供達が育てたドングリの苗が大きく育ち大人になる頃に、やがてオオクワガタがやって来ることでしょう。

林野庁 近畿中国森林管理局
箕面森林環境保全ふれあいセンター

箕面市立とどろみ幼稚園

平成20年11月19日(水) 晴れ

当日は、空気が澄んでいてまぶしいくらいの天気でした。

園児17名と職員の方で「オオクワガタの棲める森づくり」としてクヌギ、コナラのドングリの埋め込みをしていただきました。



ポットに腐葉土をいっぱい入れて。



みんな、ドングリを埋めました。

当センターから2名と地元ボランティアの鎌谷さんに協力いただきました。

ポットに腐葉土を入れて各自1個を作り、ドングリを埋め込みました。ドングリは根の出かかっているものを選んで埋めました。これからどんどん根が伸びることでしょう。

20年後になれば、植えた木が大きくなって、オオクワガタがやってくると思います。皆さんが24歳、25歳頃、どんな森に生きているか楽しみにして下さい。

平成20年11月30日(日) 晴れ

幼稚園で展示会が開催され、地域の方のリース作りや木工教室が行われました。ドングリの埋め込みも参加して頂きポットができあがりました。ポットはそのまま幼稚園で育てて頂いています。

箕面市立かやの幼稚園

平成20年11月16日(日) 雨のち晴れ

この日は、箕面市内の幼稚園の作品展が行われており、かやの幼稚園では職員の方にクヌギ、コナラのドングリの埋め込みを行っていただきました。当センターから3名と地元ボランティアの鎌谷さんに協力をいただきました。

職員の方で試験的に20鉢作っていただきました。ドングリは、根が出はじめてのものを埋め込んでもらいました。この冬の間には根はどんどん地中に伸びます。来年の春に、芽が出て来ますので、園児と一緒に観察していただけたらと思います。

箕面市立箕面小学校

平成21年1月31日(土)

箕面小学校主催で環境教育の一環として「かきの木キッズマナビ」が開催されました。当センターも参加して、クヌギ、コナラのドングリを埋めたポットを持ち込み、苗木育成の協力依頼を行いました。当日は、36名の児童が65鉢を家庭で育成するため持ち帰り、20鉢は校長先生の了解を受けて小学校の中庭で育成し、多くの児童に観察していただくことになりました。



ドングリの説明を聞く児童



コナラを育てたいの？

「オオクワガタの棲める森づくり」

林野庁 近畿中国森林管理局
箕面森林環境保全ふれあいセンター

育てた苗木は国有林に植樹します。

平成21年3月～来年3月まで育てた苗を、来年4月頃に箕面国有林(下の図:平成22年4月頃植樹する場所)へ植樹します。

苗木育成に参加頂いた方には、来年の植樹祭に参加いただき国有林に苗木を植えます。

小学校、幼稚園、市民の方に苗木を育てていただき、来年(平成22年)の4月頃の植樹祭で自分の育てた苗木を植えていただきます。

植える場所は「箕面体験学習の森」
(エキスポ90みのお記念の森)
右の図の場所に集まります。



苗木の植え方

植える時に「カミネッコン」を使います。再生段ボール紙でできており、壁の空間に濡れた新聞紙を詰めることで乾燥地でも育つように開発されたポットです。

育てた苗木を、ポットに移して、展望台



カミネッコン(森林空間研究所HPより)



付近に植えます。植えるというよりも置く(左写真を参照)感じです。できればまわりの土などを寄せておけばOKです。

ポットは自然に腐り、苗は地面に根を張って大きくなってくれます。